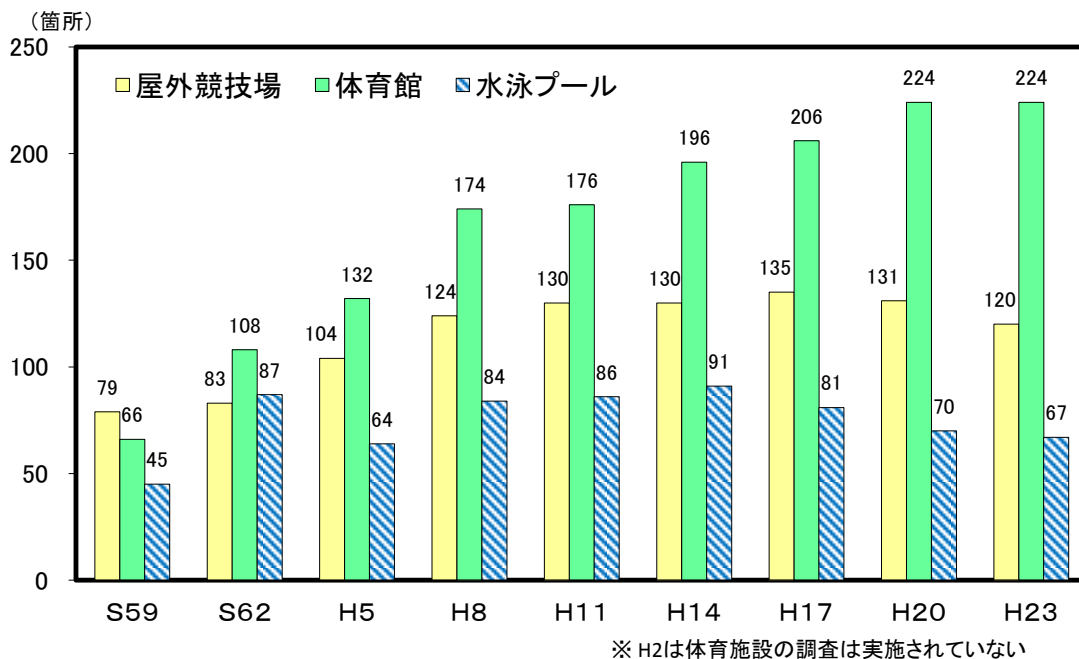


熊本県の体育施設数の推移(社会体育施設+民間体育施設)



解 説

【概要】

平成23年の県内社会体育施設は875か所(全国47,571か所)で、前回調査時の平成20年に比べ1か所増加した。

一方、県内の民間体育施設は333か所(全国15,532か所)で58か所増加した。

種類別には屋外競技場が前回(H20)から8.4%減少して120ヶ所、体育館は前回と同数の224ヶ所、水泳プールは4.3%減少の67ヶ所だった。

種類別の施設数について昭和59年からの推移をみると、体育館数は一貫して大きく増加している。屋内競技場は平成11年まで上昇傾向にあったがそれ以降は概ね横ばい気味。水泳プールは平成14年をピークに減少傾向にある。

○社会体育施設

一般の利用に供する目的で地方公共団体、独立行政法人が設置した体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。青少年教育施設等に附帯する体育施設は除く。

○民間体育施設

民間の営利・非営利体育施設で、一般の利用に供する目的で設置された体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。企業の職員の福利・厚生用の施設は除く。

○屋外競技場数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋外施設の中から、陸上競技場、野球・ソフトボール場、球技場の合計とした。

○体育館数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋内施設の中から、体育館の数とした。

資料出所	調査期日	調査周期
「社会教育調査」 文部科学省	平成23年10月1日	3年